

特
別
展
示

骨が語る人の生死

東京大学総合研究博物館
本館企画展示室

東京都文京区本郷7-3-1
開館時間、休館日はホームページをご覧ください。
主催：東京大学総合研究博物館

2023.9.30sat

会期延長

2024.2.22thu

2024.5.16thu

生

日本列島一万年の
記録より

Human Life
and Death as
Told by Ancient
Bones
The 10,000 Year
History of the
Japanese Islands



東京大学総合研究博物館
The University Museum, The University of Tokyo

特別展示

骨が語る人の生と死

あなたの知らない、祖先たちの素顔

この列島で、彼ら彼女らは、

どんな時代をどう生きたのか？

骨が語る、多様な生き方と考え方

祖先たちの声を聴き

足元からヒューマン・ダイバーシティを問い直す



日本史上最高のマッチョマン(2022年調査時点)



暴力の証拠？ 頭頂部に謎の2つの穴があいていた縄文人男性



上：出っ歯が目立つようになった鎌倉時代

下：頭頂部の刀傷は鎌倉時代の合戦によるものか？

第一部：骨が語る「生」

◆日本史上最高のマッチョマン◆筋骨たくましい縄文人の中でもとりわけ頑丈な集団がいた◆骨があらわす縄文の生活◆大けがを負って◆彫りの深い顔立ちの縄文人は歯並びが整っていた◆奇抜なデザイナーたちには不思議な習慣があった◆戦争の証拠がなく平和にみえる縄文時代に暴力行為はどれほどあったのだろうか？◆激動する社会のはざまで ①渡来系集団の到来(弥生時代)◆激動する社会のはざまで ②変わる顔つき(古墳・飛鳥・奈良時代)◆長頭で反っ歯だが歯並びの乱れは少ない鎌倉時代人◆豊かさに伴った長寿化と小顔化と歯並びの悪化と低身長(江戸時代)

第二部：骨が語る「死」

盤状集骨葬(縄文時代)◆廃屋墓(縄文時代)◆多人数集骨葬・犬の埋葬(縄文時代)◆横穴墓(古墳・飛鳥・奈良時代)◆なぜ人骨がないのか(奈良・平安時代)◆共同墓地の出現と合戦の犠牲者(鎌倉時代)◆誰もが墓地に葬られる時代の到来(江戸時代)

第三部：病との闘い

がん / 結核 / 梅毒

眼窩の天井に貧血の症状がある鎌倉時代の小児



東京大学総合研究博物館 本館企画展示室

主催：東京大学総合研究博物館 企画：海部陽介
開館時間・休館日・関連イベントはホームページをご覧ください。

入場無料



東京大学総合研究博物館
The University Museum, The University of Tokyo